

エキストラランブル 大会ルール

◇遵守事項

【大会形式】

エキストラ エキストラルール適用 ランブル形式

当大会ではエキストラスタイルに対応したカードのみ使用可能です。

※エキストラスタイルに収録されているカードと同名の再録カードであっても、エキストラスタイル非対応のカードは使用できません。

※同名カードのテキストが異なるカードにつきましては、最新エクスパンションのテキストに準じます。

※使用不可とされているカードの使用が発覚した場合、本日の全ての対戦結果を没収させていただき場合がございます。予めご了承ください。

当大会では、エキストラルールを適用します。

同じネームレベルのカードは、お互いの場に1体ずつまで登場させることが可能です。

※ただし、対戦開始前にお互いの同意が得られる場合、エキストラルールを採用せず対戦することが可能です。

相手への強要などが確認された場合、対戦結果の没収などさせていただき場合がございます

- デッキの途中変更は可。
- 対戦相手が着席してからシャッフル等対戦の準備を行い、両者の対戦準備が整い次第、対戦を開始する。
- 先攻、後攻は7枚のドローの前にジャンケンで決める。(勝った方が先攻・後攻を選択)
- 先攻のファーストドローはなし。
- 後攻は1回のみ手札の引き直し可。手札を引き直す場合、手札を山札に戻してから、後攻、先攻の順にシャッフルを行い、その後、手札を引き直す。
- 途中投了は不可。
- その他、詳細は最新のアクエリアンエイジルールブックに準ずる。
- ゲームの勝敗
 - ・敗北条件
 - 1.ダメージ置き場に置かれたカードが10枚以上になった瞬間。(バトルの結果であれば、そのバトル判定の処理が済んだ時点)
 - 2.デッキにカードが一枚も無い状態で、デッキからカードを引かなければならない。
 - ・勝利条件
- 対戦相手を敗北させ、かつ自分が敗北していないプレイヤーの勝利。
- 試合終了後、スコアシートの継続参加希望欄の項目に○をし、必ず対戦した相手と共に受付で承認印を受けて下さい。
- 承認印を受けた後、受付にて次の対戦相手のマッチングを行う。
- 承認印のない試合結果は認められない。
- 一度対戦した相手との再戦は不可。
- いかなる場合でも、ジャッジ・スタッフの判定・指示には従わなくてはならない。ただし、上告は可能。
- 一度退場した後の再参加は認められない。
- 上告について
 - ・ジャッジの裁定に納得ができない場合には、ヘッドジャッジに上告することができます。
 - 上告の際、改めてヘッドジャッジが裁定を下しますが、この裁定がジャッジの下した裁定と同じ場合でも異なる場合でも最終的な裁定となります。本日の大会において、その裁定が覆ることはありません。
- 対戦の内容が適切でないと判断した場合、対戦結果を没収することがあります。予めご了承ください。